

上越市議会議長 内 山 米 六 様

議会広報広聴特別委員長 杉 田 勝 典

意見交換会のあり方について（報告）

当市議会では、平成 20 年 11 月から議会報告会を、同 23 年 2 月からは市民との意見交換会を開催し、これまで、市内 85 会場で、延べ 1,829 人の皆さんから合計 1,216 件の意見を頂戴し、議会活動に役立ててきました。市民との情報共有や市民意見の市政への反映を図るためのこれらの取組は、全国的にも高く評価され、毎年、多くの市区町村議会から、当市議会に視察にお越しいただいています。

一方、参加者の内訳を見ると、女性や若者の参加は極めて少なく、町内会役員や地域協議会委員など地域で特定の役割を担う人の参加が多数を占めるなど、参加者の高齢化、固定化が顕著になっています。

そこで、当委員会では、各地域で開催する意見交換会に参加してこなかった市民からも意見をお聴きするため、平成 28 年度には、県立看護大学や上越教育大学の学生との意見交換を実施したほか、各地域で開催している意見交換会のあり方の見直しに向けた協議を行ってきました。

つきましては、その協議結果をとりまとめたので、報告します。

記

1 検討経過

年月日	会議名等	内 容
H28. 11. 18	議会広報広聴特別委員会	委員間協議①
H28. 12. 27	意見交換会	上越教育大学生との意見交換（グループワーク形式）
H28. 12. 27	議会広報広聴特別委員会	委員間協議②
H29. 1. 30	議会広報広聴特別委員会（研修）	ファシリテーション研修を通じて、意見交換会の位置づけの整理や意見を聴くための技術について学習
H29. 2. 6	議会広報広聴特別委員会（研修）	
H29. 3. 16	議会広報広聴特別委員会	委員間協議③
H29. 3. 22	議会広報広聴特別委員会	委員間協議④
H29. 4. 27	議会広報広聴特別委員会	意見交換会のあり方について（案）のまとめ

2 協議結果の概要（詳細は「別紙①」のとおり）

- ・5月と11月に開催する議会報告会・意見交換会（4会場×2期＝8会場）は、各地域において継続する。
- ・議会報告会・意見交換会の実施地区は、合併前上越市の区域を3地区（北部、中部、南部）に分け、旧町村単位の13区と合わせた16地域を2年で一巡する。（参考：開催地区（案）別紙②）
- ・8月の市民との意見交換会（単独開催）は実施せず、それに代わって、特定の団体（大学生、子育て中の父母、PTA など）を対象としたテーマ別の意見交換会を年に4回程度実施する。（参考：意見交換団体（案）別紙③）
- ・議会報告会・意見交換会の開催時間は、これまでの平日夜間における開催に加え、平日や休日の昼間・夜間の開催を組み合わせる。（29年度は試行実施）
- ・特定の団体との意見交換については、対象団体をリスト化して議会内で共有して行う。
- ・会議の開催形式は、これまでの対面形式にこだわらず、グループワーク形式、車座形式など、意見を出しやすい雰囲気づくりに努める。
- ・必要に応じて、会議運営の技術向上を図るための研修等を実施する。

3 参考

(1) 議会報告会・意見交換会の出席者の内訳（出席者アンケートの集計結果より）

- ・出席者の9割以上を「男性」が占める。
- ・出席者の約8割が「60代以上」で、20代・30代は全体の3%に満たない。
- ・出席者の8割以上が地域協議会委員又は町内会役員で、一般の参加は15%程度。

区分		今年度（H28）	昨年度（H27）	H20-28 平均
性別	男性	92%	93%	92%
	女性	8%	7%	8%
年齢別	40代以下	7%	20%	8%
	50代	10%	23%	14%
	60代	57%	11%	52%
	70代以上	26%	46%	26%
地域での役職	地域協議会委員	38%	30%	34%
	町内会役員	47%	53%	50%
	その他	15%	17%	16%

(2) 議会報告会・意見交換会の認知度（市政モニターアンケートの結果より）

- ・市政モニターアンケートでは、約6割の人が議会報告会・意見交換会を認知していない。
- ・開催していることを知っているも、約9割の人は「参加したことがない」。
- ・参加しない理由は「時間がない」「興味がない」「開催日時が合わない」など